

銀河レポート401

No. 22
3月号

発行日：平成29年3月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

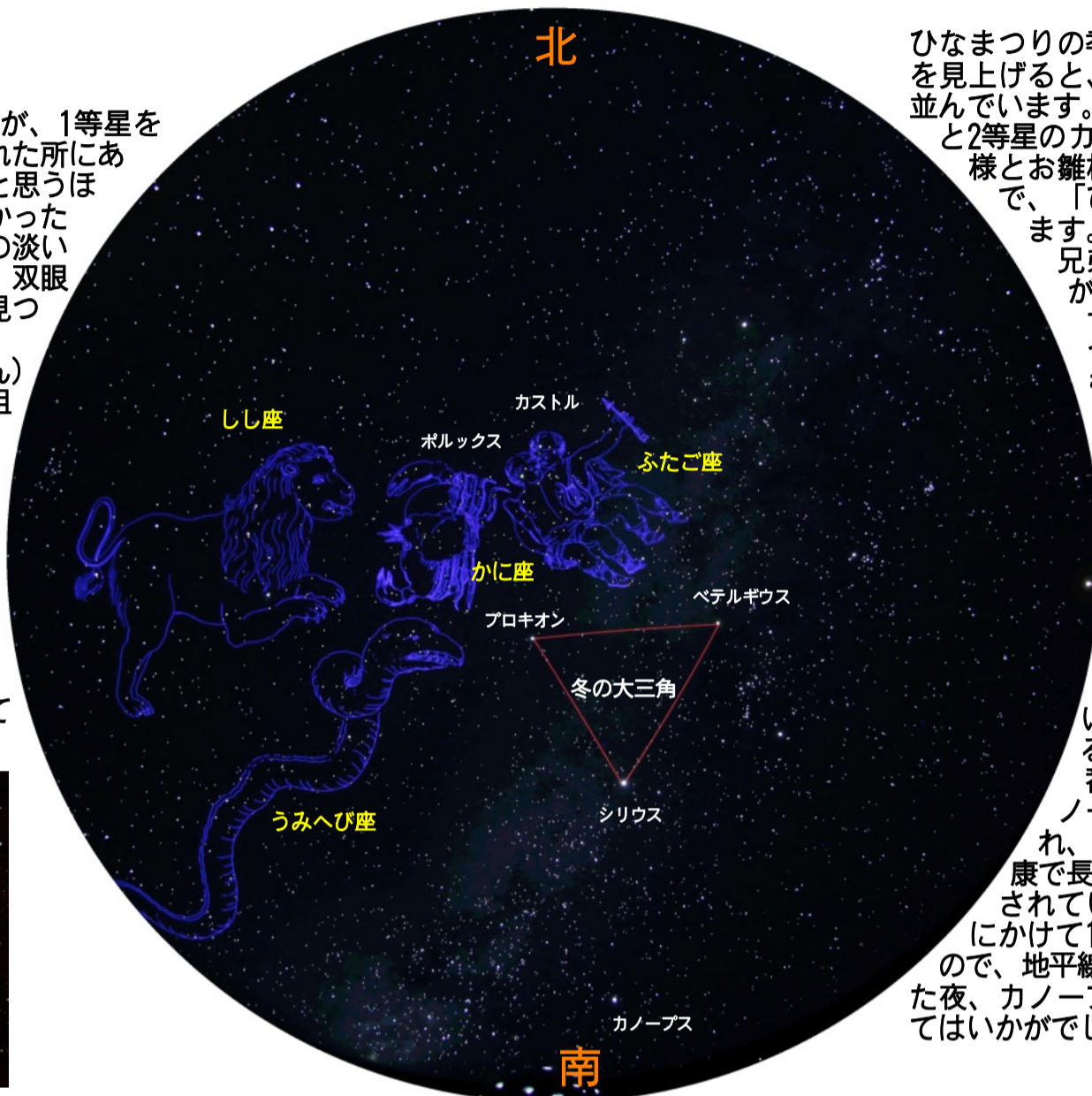
3月の星空

かに座

かに座は目立つ星はありませんが、1等星を持つふたご座と、しし座に挟まれた所にあります。中心に、目の錯覚かなと思うほど淡い星の光のかたまりが見つかったら、その辺りがかに座です。この淡い星のかたまりはプレセペ星団で、双眼鏡を使うとかわいい星のむれが見つかります。かに座の学名Cancer（キャンサー）は病気の癌（がん）と同じつづりで、これは医学の祖ヒポクラテスが腫瘍（しゅよう）の外見をカニの姿に例えたためです。ギリシャ神話では、カニは、ヘルクレスにやられそうになった友人であるヒュドラ（うみへび座）を助けようとしていますが、踏みつぶされてしまいます。一部始終を見ていた女神ヘラが友人思いのカニを哀れに思って天に上げたという話が伝えられています。



プレセペ星団



GINGA PORT401内で撮影

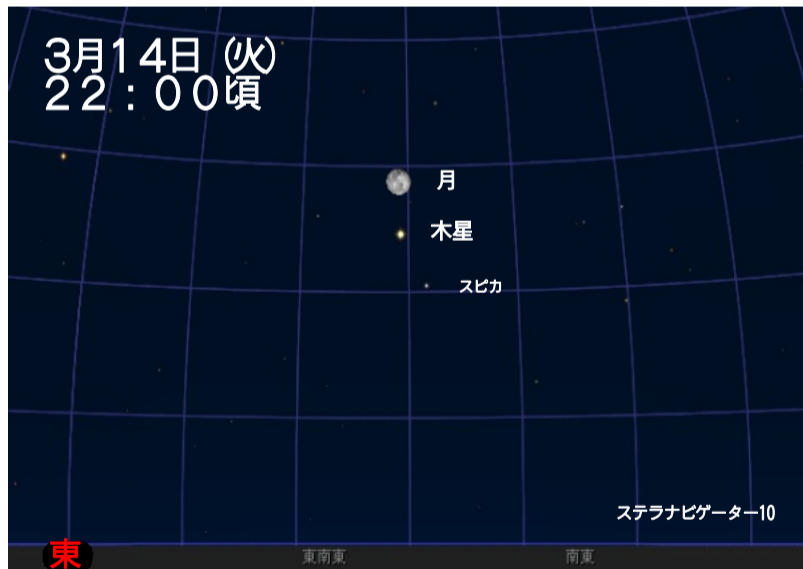
ふたご座

ひなまつりの季節、21時ごろ空のてっぺんを見上げると、ふたつの明るい星が仲良く並んでいます。ふたご座の1等星ポルックスと2等星のカストルです。まるで、お内裏様とお雛様のように並んでみえますので、「ひな祭り星」とも呼ばれています。ギリシャ神話では、双子の兄弟として描かれています。兄がカストルで弟がポルックスです。二人は大の仲良しで、いつも一緒に遊んでいます。ともに技術を学び、カストルは乗馬の名人に、ポルックスはボクシングの達人になりました。自信をつけた二人は冒険に出かけ活躍する話が残されています。

カノープス

南の地平線すれすれに輝いている1等星。その輝きはとても明るく、全天でシリウスに次いで2番目の明るさです。中国ではカノープスは「南極老人星」と呼ばれ、お目にかかることができれば健康で長寿にあやかれる、めでたい星とされています。2月の中旬から3月上旬にかけて19時頃に見やすくなっていますので、地平線近くまですっきりと晴れ上がった夜、カノープス探しにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

3月14日(火)は月と木星が接近!



3月14日は21時頃から15日の明け方にかけて満月から2日経った月齢16の月と木星が接近して見えます。

木星を探すには月が目印となり、絶好の日です。また、木星の下にはおとめ座の1等星スピカも一緒に並んでいます。

月と二つの明るい星の共演を是非ご覧ください。

次回の月と木星の接近は、4月10日から11日となります。



3月ガリレオ教室のお知らせ

〈惑星のひみつ〉

今見頃の太陽系の惑星について、実験をしながら天文ボランティアが分かりやすく解説します。

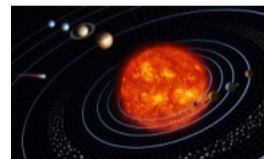
日時：3月12日(日)

①11:00から11:20

②14:00から14:20

場所：5階コズミックラウンジ

※ 当日の自由参加
参加無料



★★観望会★★



《博物館主催きらら号観望会》

日時：3月25日(土)

時間：10時30分から12時

場所：市民公園

内容：太陽を見よう

※天候不順時は中止です。

※当日の自由参加です。

《天文ボランティア主催観望会》

日時：3月5日(日)

時間：18時30分から20時

場所：市民公園

内容：月と金星を見よう

※天候不順時は中止です。

※きらら号は出動しません。

3月の月

5日  上弦

12日  満月

21日  下弦

28日  新月

編集後記

旧暦で3月のことを弥生といい、「草木がいよいよ生い茂る月」という意味があります。この時期になると各地で雪や氷が解け、植物が芽を出し花のつぼみがふくらみ始めます。いよいよ春です。空でも、南の空に、かに座やしし座など、春の星座が昇ってきます。雨の日が多くなる時期ですが、天気の良い日は外に出て、春霞に包まれた穏やかな星の輝きをお楽しみください。